

令和4年度 第1回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和4年7月27日（水） 午前10時00分 開会
午後12時05分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場分庁舎 2階 BC会議室
- 3 出席者
・町長 佐野 和広 ・教育長 入月 一巳 ・教育長職務代理者 山本 純司
・教育委員 望月 正宏 ・教育委員 望月 聡美 ・教育委員 渡邊 正志
- 4 事務局等の出席者
町長部局 秘書政策監 小倉 弘規 総務課長 渡辺 雄治
教育委員会事務局 学校教育課長 近藤 利也 生涯学習課長 遠藤 賢
アルカディア課長 尾崎 龍次
- 5 協議事項
(1) 新型コロナウイルス感染状況について ～南部中クラスター～
(2) 令和4年度の取組方針 ～教育委員会・各学校・生涯学習課・アルカディア課～
(3) 南部地区の小学校適正配置について
(4) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開 会 （山本教育長職務代理者）

皆さん、おはようございます。今日の新聞を見て驚きましたが、一昨日が14人、昨日が10人で、まさにコロナ禍の中に我が町があるのかなと思います。ニュース等を見ているとPCR検査とか、抗原検査キットを買い求める人、診療を求めて並んでいる人の姿を見ると、第7波だけど、どうやって対策を積み重ねて来たのか若干疑問に思うところがあります。経験の中から何を学んで、最善の策は何だろうということがやはり求められるのではないかと思います。本日は、町民の皆さん、未来を生きる子どもたちの姿を、忌憚のないご意見をいただきながら将来を見据えて語り合いができればと思います。よろしく申し上げます。

2 町長あいさつ

おはようございます。非常な勢いで南部町でもコロナの感染が拡がりつつあります。昨日は何人かの町村長とも話をしましたが皆さん驚いていました。今まで南部町は感染者が少なく抑えられていたのがここへ来て急激に増えました。どのような人たちかという、学校関係、保育所関係、それに係わる親御さんたちです。子どもの感染を防ぐといっても、例えばワクチン接種をする。いろいろなことがあって接種できない子どもたちがいるかもしれませんが、やはりワクチンの必要性というのは、後遺症などの話もあまり聞きませんので、是非とも国の方でもう一度、対策を練り直していただきたいと思っています。何しろそれに伴い困るのが、病床がひっ迫していることです。特に本来であれば手術を受けたい人たちがいるのですが、その人たちが受けられないということは相当な影響を及ぼしますので、これ

もどうするのかと思っています。

今、こんな状況ですから、南部町においてもいくつかの行事が中止になっています。私は極力、こんなもんでいいのだと、町民、子どもたちがそう思ってしまい、そこで向上心が萎縮してしまいますので、ある程度、その辺りに気を付けながらも積極的にやって行こうと思っています。8月15日には南部の火祭りがあります。今回は従来と違い、花火と百八ただけとなりますが、それでも人は出ると思います。やはり、このような行事を、何でも怖い怖いということで抑えてしまいますと、人間というのはある程度の意欲を持たないと成長できませんし、子どもたちもそうだと思います。ですから、今日はこの辺が中心となり話がされると思いますが、そのような中で、子どもたちの将来をどうしたらいいのか、しっかりと方向付けしていただければありがたいと思います。今日はよろしくお願ひします。

3 教育長あいさつ

皆さん、おはようございます。大変お忙しい中を本日はありがとうございます。

新教育委員会制度と同時に総合教育会議がスタートし、今年で8年目になります。何かを決めたり、何かを議決したりとか、そんな会議ではありません。是非とも歴史と文化と教育を大事にしている南部町の教育がさらに発展できますようご参集の皆様からのご意見を伺い、施策との整合性を図りながら、これからどうしていくか、思いを自由に述べていただきたいと思います。私はこの会が発足した当初から教育委員として参加しておりますが、いつの会も、いつの時でも、いままでを振り返って見ますと活発な意見交換がなされ、大変有意義な会であったと思っています。今日もいろいろなご意見を出していただき、この会が充実した会になればと思っています。ご案内のように今日の議題は三つあります。新型コロナウイルス感染状況について、南部中学校クラスターの件、令和4年度の教育委員会、各学校、生涯学習課、アルカディア課の取組方針、最後に南部地区の小中学校適正配置の件となっています。限られた時間の中ですが、よろしくお願ひします。

4 議事

(1) 新型コロナウイルス感染状況について ～南部中クラスター～

[学校教育課長より、南部中学校野球部の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生状況の経緯について報告がありました。]

(町長) 中学生のワクチン接種状況についてはどうなのか。

(事務局) 先生方については、ほぼ全ての先生が3回目のワクチン接種を終了しています。生徒の接種状況については、学校教育課では正確な数を把握していませんが、福祉保健課に確認したところでは多くの生徒がワクチン接種を受けていると聞いています。

(町長) ここまで感染が拡大すると防ぐことは難しく、今、考えられることはワクチン接種をしていただくことだと思います。私も4回目の接種を先日行いましたが、ファイザーからモデルナでしたが特に異常はありませんでした。接種して後遺症が心配な場合もありますが、感染してしまうことも困ります。

(事務局) 感染した者の中で重症化してしまった生徒はいないと聞いています。既に県の総体が始まり全員揃って出場しています。野球部以外にも男女のバレーボール部、女子ソフトテニス部が出場し、吹奏楽部についても先週の土曜日に吹奏楽コンクールに出場しています。

(渡邊委員) 状況報告書を見て、校長先生を始め先生方、教育委員会を含め適切な対処の仕方を行っていただいたと感じています。最後の部分に町内保育所や小学校で陽性者が始まって以来とあるのはいつ頃のことか。

(事務局) 7月21日の木曜日に町内保育所で感染者1名が判明して以来のことになります。

(望月(正)委員) 夏休みになると中学生は部活動、小学生はスポーツ少年団の活動を行うと思うが、スポーツ少年団で感染者がまん延した場合、教育委員会から代表者に対して対処方法等を伝えることになるのか。

(事務局) 教育委員会として感染がまん延してしまったスポーツ少年団に対しては、所管する生涯学習課から注意喚起や活動休止などの措置を取っていただくよう要請することもあるかと思います。中学校の部活動については、学校教育課が学校と一緒に考えて対処方法を考えることになります。

(町長) 南部町でもいよいよ4回目の集団接種が始まりました。多くの高齢者が接種を受けていますので出来るだけ子どもたちにも接種を受けてもらいたいと思います。

(山本委員) 野球部のクラスターが終息して終わるのではなく、クラスターが発生したことは原因があるはずで明確にしておかなければならないと思いますし、家族についても家庭の中での対応で苦慮されたと思います。おそらく別室にするとか、全てを分けなければならないとか、消毒をどうするか、家庭内でマスクをするとか相当大変だったと思います。そう考えると影響はものすごく甚大だったと思います。私が野球部の顧問をやっていた経験からすると木曜日に修学旅行から帰ってきた次の土日に、部活動を二日間にわたり一日やっていること、練習試合も連日やっている。私の中ではそのような経験がないので、子どもにとっては非常に疲れがたまり、体力的にもきつい部分があったと思います。中学校ではしっかりと検証する必要があると思います。

(教育長) 先の定例教育委員会でも議題となった件ですが、修学旅行から帰ってきたばかりで、しかも暑い中で練習試合、練習を二日間やっている。当然、体力は消耗する。コロナの感染もしやすくなるという状況があったと思いますので、校長先生には直ぐに話をしておきました。なぜ南部中学校でクラスターが発生したのか、その原因は、しかも野球部ばかり、このことについては改めて学校にも確認します。

(望月(聡)委員) 南部中学校でクラスターが発生した時に、近所の中学3年生の子が大変なことになったと教えてくれました。何年何組の生徒が感染したのか分からないので怖いと言っていました。小学校もそうなのですが、学校でコロナの感染者が出た時に学年の情報がないのはプライバシーの関係なのではないでしょうか。

(事務局) 学校においては、基本的な感染対策をしっかりと実施しているため、長時間におよびマスク無しでおしゃべりしていたとか、給食中におしゃべりしながら食べていたなどの実態がない限り、濃厚接触者に該当する児童生徒はいないものとなります。学年を公表することにより感染者についての憶測が広がり、誹謗中傷があってもいけませんので、原則、学年の公表はしておりません。ご理解ください。

(渡邊委員) 学校については組織の中で、校長先生を筆頭に対処方法などについて検討、対応ができると思うが、スポーツ少年団などの団体についてはどのようになっているのか。

(事務局) スポーツ少年団につきましては、所管の山梨県スポーツ協会から送付された新型コロナウイルス感染症のまん延防止に向けた感染防止対策の徹底を要請する文書を改訂があれ

ば都度、代表者あてに送付しています。また、県からは代表者に対し直接メールでの注意喚起もされています。大会等の実施にあたっては、競技団体等が作成したガイドラインやマニュアルに沿って運営されています。

(町 長) これだけ極端に感染者が増えますと、南部町としても行動制限ではありませんが、住民に対する感染防止対策の徹底と再度の注意喚起が必要だと感じました。

(2) 令和4年度の取組方針 ～教育委員会・各学校・生涯学習課・アルカディア課～

[教育委員会の取組方針については教育長、各学校の取組方針については学校教育課長、生涯学習課及びアルカディア課の取組方針についてはそれぞれの担当課長から、令和4年度の取組方針について説明がありました。]

(町 長) 南部中学校の生徒による防災組織が出来たことはとても良かったと感じています。

先日、町の防災講演会で林先生の講義がありました。南部町の方々は防災に対して関心があり、コロナ禍の中でも大勢の方が参加してくれました。今は地震だけでなく各地で起こる線状降水帯によって洪水が起きています。南部町もこのような地形ですから非常に怖い所だと思います。先日の大雨で富士宮市では山からの水で木が倒され、それが道路に押し出され交通止めになりました。あのようなことがありますので、常にいつ何時、災害が起こるかわかりません。コロナ対策も大切ですが、今は防災にも力を入れなければなりません。対策がしっかりしていれば今まで以上に南部町は良くなると思います。そのような中での中学生による防災組織は地域の方々にとっても非常に心強く良かったと感じています。

長野県の南箕輪村ではすごく人口が増えています。子育て支援、教育からスタートし、7千人から1万6千人まで人口が増えました。南部町もハード的な面は揃ってききましたので、次は子育て支援プラス教育だと思っています。活性化の基となる施策に力を入れていくことは間違いなく良くなると思います。

(教育長) 8月8日の月曜日には、南部中学校と身延高校の生徒による中高連携の防災セミナーが計画されていましたが、コロナ禍の中で延期となりました。南部中学校の生徒がこのような機会を使って防災について勉強してくれることはありがたいことです。

(3) 南部地区の小学校適正配置について

[初めに教育長が小学校の適正配置について、町長に対して具申書を提出した後に教育委員会として実施した保護者、住民説明会の結果、統合について理解できたかのアンケート結果、小学校A地区の統合後のアンケート結果などについて説明をしました。また、令和3年第2回総合教育会議の中で協議されたB地区の小学校適正配置については、令和8年4月を目途に統合することが望ましいとの皆さんの一致した意見をいただいたことについての再確認、今年度に入り定例教育委員会で協議された小学校B地区の適正配置については、統合後の場所は睦合小学校を使用したらどうか、通学区域は特に井出、十島地区の当事者となる保護者の意向を伺ってはどうか、との現時点での考えを示しました。令和5年3月までには教育委員会としての考えをまとめ、町長に対してB地区で使用する学校、通学区域について具申すること、令和5年4月には栄小学校が複式学級になること、6月から8月にかけて南部地区の保護者、住民説明会を開催することなどについて併せて説明がされました。最後に学校教育課長が小学校B地区の統合に向けての補足説明をしました。]

(望月(正)委員) 学校施設の長寿命化計画は、町のホームページに出ていますか。

(秘書政策監) 公共施設等総合管理計画の概要版については出ていますが、個別施設毎には出ていません。

(町 長) A地区の統合経過、統合後のアンケート結果から、統合して良かったとの声が圧倒的に多く自信をもってB地区の統合についても当初の予定どおり、令和8年4月には開校する方向に進んでもらいたいと思います。統合時期の見通しが立てば、学校の改修や財政的な面からもしっかりとした計画が立てられます。

(教育長) 通学区域については、定例教育委員会でも協議しましたが、当事者の保護者を対象に意向を聞いて、参考にして、通学区域を検討していくことでよろしいか。

(渡邊委員) 子どもたち、保護者の不安をなるべく取り除くことが必要だと思います。井出、十島地区の当事者の保護者にスクールバスでの通学距離や乗車時間が少し長くなることなどについて、事前に意向を聞くことは良いことだと思います。

(山本委員) 統合のメリット、デメリットを精査しながら積上げていく準備が必要だと思います。また、緊急時の対応として、川を隔てて橋一本というのは、栄側の保護者からすると、何かあった時にどのような対応をしてくれるのか、疑問、不安になるところだと思います。あらゆる角度からの不安を想定し、取り除いてあげる必要があると思います。

(望月(聡)委員) 過去の地区教育懇談会のまとめを見て、何か災害があった時にお迎えに行く距離が延びて困るなどの意見が出ています。ですから大雨の時などには川を渡ることが不安になると思いますし、震度5以上の地震が来た時には学校から連絡がなくても親が迎えに行くことになっていますので、万が一、通行止めになってお迎えに行けない場合でも、親を安心させるために学校がしっかりと子どもを守りますよと言ったスタンスでいてほしいと思います。

(事務局) 万が一に備え、学校でも数日分の飲料水や食べ物を備蓄しております。

(町 長) 地震はいつ起きるか分かりませんが、雨量と洪水については気象庁の精度がすごく高くなっていますので、あえて危ないと思った時には、教育委員会で早めに決断し、休校などの措置を取っていただきたいと思います。

(山本委員) 進路、雨雲レーダーなどの予測から、早ければ前日には休校等の判断が出来るのではないかと思います。また、弟や妹がいますので、中学校の防災マニュアルとも連動し、齟齬をきたさないようにしなければなりません。

(4) その他

特になし

5 閉 会 (望月(正)委員)

お疲れ様でした。教育委員会のどの行事もコロナが影響しています。更に新しい変異株が出始め、世の中がどうなっているのかなと思います。いずれにしましても私たちが罹らない防衛策を考え、学校は学校で更に検討していかなければいろんな行事がスムーズに進んでいかないのかなと心配するところです。本日はいろんなご意見をいただきましたが、これからの南部町の教育がスムーズに行きますよう期待しながら、私なりに頑張っていきたいという思いを持ちました。以上で南部町総合教育会議を終わります。お疲れ様でした。